

じゃらん宿泊旅行調査 2022【旅行市場動向編】

旅行需要は堅調に回復基調

一人あたりの旅行回数、費用、宿泊数いずれも上昇

一人旅は過去最高値



株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：沢登 次彦）は、全国1万4,123人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2022」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態（出張・帰省・修学旅行などを除く）を調べるもので、今年で18回目となります。2021年度（2021年4月～2022年3月）の主な結果は以下の通りです。

国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数推計ともに前年度より増加し回復傾向（→P3）

- 2021年度の宿泊旅行実施率は34.1%で、2020年度より2.9ptの上昇。年間平均旅行回数は2.59回で微増。また、平均宿泊数は1.83泊で過去最高。延べ宿泊旅行者数は8,231万人回（2020年度比13.4%増、2019年度比では39.4%減）、延べ宿泊数は1億5,138万人泊（2020年度比19.3%増、2019年度比では37.9%減）。

宿泊旅行の費用総額は24.4%増加（→P4）

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で4兆6,837億円。2020年度より24.4%増。
- 1回の宿泊旅行にかかった費用は平均で5万6,900円で、2020年度より5,100円増加。コロナ禍前と比べてより1回の旅行にかけの金額が増加している。

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住地別の県内旅行率（→P5）

- 延べ宿泊旅行者数1位は東京都が返り咲き。2020年度と比べて関東ブロックからの移動が目立つ。
- 県内旅行率トップは2020年度に続き北海道。2020年度と比べて県内旅行の件数は減っておらず、近隣旅行の需要は引き続きありながらも、県外への旅行が増えた形。



JRC 主席研究員
森戸 香奈子

《解説》市場は回復基調。徐々にイベントやアクティビティも活発に

コロナ禍前の2019年度と比べるとまだ完全回復には遠いものの、市場は回復に向かっています。旅行単価の上昇は「せっかく行くなら良い旅を」という志向性にも見えます。近隣旅の需要は維持されるなど、旅行者は感染状況に気を配りながら旅行をしています。徐々にかつての旅行スタイルを取り戻していくものと思われます。今後はイベントへの参加や体験・アクティビティなど現地消費も活発になっていくでしょう。そのような中で「一人旅」が過去最高値であることも注目です。密を回避するには一人旅はピッタリの旅行スタイル。平日に休みを取って空いている場所や時期を狙ったり、長期滞在をしたり、好きなことに集中したり、大人数では行きづらいような場所を訪れるなど、目的志向性が高いのが特徴です。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2022年4月1日（金）～2022年4月21日（木）
- ③調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④配信数 212万4,882件
- ⑤調査内容 2021年度（2021年4月～2022年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
- ⑥回収数 9万9,056件（回収率4.7%）
- ⑦集計対象者 2万件
 - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
 - ・配信数と割付について
 - 2次調査のセル別目標回収数は、「令和2年 国勢調査」の都道府県別、性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した
 - ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万4,000件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数について
 - ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者3万3,767件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
 - ※回収された9万9,056件のうち都道府県別、性・年代別に割付を行い2万件を抽出
 - 性・年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2022年4月8日（金）～2022年4月21日（木）
- ③調査対象 3万3,767件（うち、同居家族モニター129件）
 - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万3,638件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：129件
 - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した
 - 追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した
 - （回収数6,686件<配信数7万7,828件 回収率8.6%>、2次調査対象者数129件）
- ④配信数 2万8,383件（うち、同居家族モニター45件）
 - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付に合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万4,187件（回収率50.0%）
- ⑦有効回答数 1万4,123件（うち、同居家族モニター27件）
 - （旅行件数ベース2万5,840件）

2021年度の1年間に宿泊旅行（※1）を実施した20～70代の割合は34.1%で、2020年度より2.9ポイント増加した。実施者における年間平均旅行回数は2.59回と微増、1回の旅行あたりの平均宿泊数は1.83泊。実宿泊旅行者数の推計値は3,176万人で2020年度より8.6%増。延べ宿泊旅行者数（※2）は8,231万人回（2020年度比13.4%増）、延べ宿泊数（※3）は1億5,138万人泊（同19.3%増）。2019年度からほぼ半減した2020年度と比べて、対2019年度比では37.9%減まで回復した。2021年度は宿泊旅行実施率はいずれの属性においても回復、特に女性20～34歳で4.8ポイント、女性35～49歳では3.9ポイントと増加幅が大きい。

■ 延べ宿泊旅行者数の推計方法

	R3年10月1日 現在推計人口	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) 	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行実施者 の1回の 旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万人泊) A*B*C*D
(2021年度) 全国20～79歳男女	9,319	34.1	2.59	1.83	3,176	8,231	15,138
20年度との差→		2.9	0.11	0.08	251	974	2,451
20年度比→					8.6%	13.4%	19.3%
19年度比→					▲ 36.9%	▲ 39.4%	▲ 37.9%
(2020年度) 全国20～79歳男女	9,388	31.2	2.48	1.75	2,925	7,256	12,687
(2019年度) 全国20～79歳男女	9,388	53.6	2.70	1.80	5,031	13,575	24,393
(2018年度) 全国20～79歳男女	9,408	56.4	2.78	1.78	5,310	14,777	26,416
(2017年度) 全国20～79歳男女	9,438	55.6	2.78	1.76	5,244	14,556	25,646
(2016年度) 全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308
(2015年度) 全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903
(2014年度) 全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397
(2013年度) 全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972
(2012年度) 全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445
(2011年度) 全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987
(2010年度) 全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686
(2009年度) 全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778
(2008年度) 全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235
(2007年度) 全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604
(2006年度) 全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
(2005年度) 全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
(2004年度) 全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024

※1 宿泊旅行：国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める

※2 延べ宿泊旅行者数（万人回）：推計人口 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数

※3 延べ宿泊数（万人泊）：延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数

※ 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出。よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

※ 人口について次の統計値を用いて調査を行っている。2020年度においては推計時未発表だったため、R1年の推計値を使用した

2021年度：R3年10月1日現在人口推計 2020年度・2019年度：R1年10月1日現在人口推計
 2018年度：H30年10月1日現在人口推計 2017年度：H29年10月1日現在人口推計 2016年度：H28年10月1日現在人口推計
 2015年度：H27年国勢調査<速報> 2014年度：H26年10月1日現在人口推計 2013年度：H25年10月1日現在人口推計
 2012年度：H24年10月1日現在人口推計 2011年度：H23年10月1日現在人口推計 2010年度：H22年国勢調査<速報>
 2009年度：H21年10月1日現在人口推計 2008年度：H20年10月1日現在人口推計 2007年度：H19年10月1日現在人口推計
 2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口 2005年度：H16年10月1日現在人口推計 2004年度：H15年10月1日現在人口推計

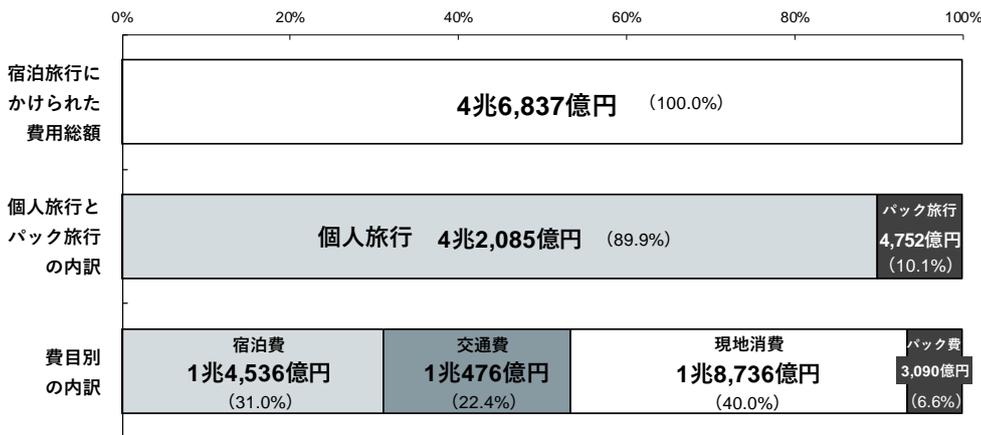
■ 性・年代別宿泊旅行実施率の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
全国20～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8	55.6	56.4	53.6	31.2	34.1
20～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7	54.8	56.2	55.1	35.7	39.1
20～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3	60.5	64.3	61.4	39.1	43.9
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0	53.3	53.5	53.5	31.4	33.3
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8	55.5	56.2	52.1	27.1	31.0
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0	54.7	54.8	51.4	30.2	33.0
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6	56.1	56.8	52.9	29.2	31.4

宿泊旅行の費用総額

宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で4兆6,837億円。2020年度から24.4%増。対2019年度比では42.3%減。1回の宿泊旅行にかかった費用は平均で5万6,900円で、2020年度と比べて5,100円増加した。内訳を見ると、宿泊・交通費で2,600円、現地消費で2,500円増加している。個人旅行では総額5万4,800円で2020年度から5,400円増加、パック旅行では総額86,500円で2020年度から8,700円と大きく増加した。

■ 宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）

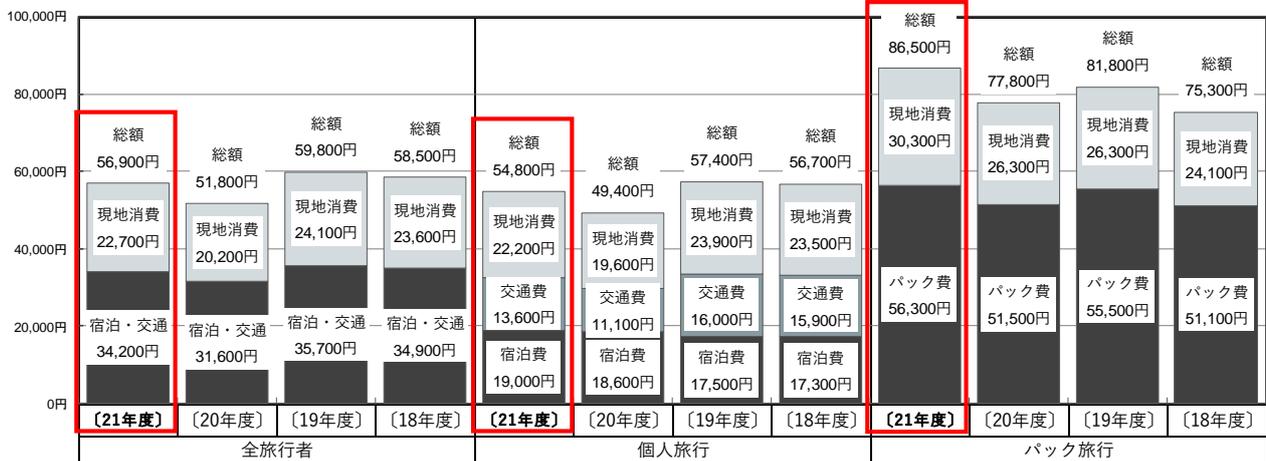


〈参考〉18～21年度比較（推計値）

(億円)	20年度比	19年度比
21年度	46,837	24.4%
20年度	37,659	—
19年度	81,215	115.7%
18年度	86,496	129.7%

■ 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



〈参考〉18～21年度比較

大人1人あたり(円)	20年度比	19年度比
21年度	56,900	9.8%
20年度	51,800	—
19年度	59,800	15.4%
18年度	58,500	12.9%

<全国の宿泊旅行費用総額の推計方法>

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

※ 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地消費の合計
20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている

※ 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

※ 現地消費・・・旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住地別の県内旅行率

都道府県別の延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都で、1位に返り咲き。5位の大阪府は2ランクアップ、9位の福岡県は圏外からランクインし、都市部エリアの回復が目立つ。ブロック別では関東、東海、関西、九州の増加が大きく、特に関東居住者の動きが目立つ。居住県と行き先の関係を見ると、県内旅行率トップは2020年度に続き北海道。5位長崎県、6位富山県、7位高知県は県内旅行率が2020年度より上回る。さらに県内旅行と県外旅行の件数を比較すると、2020年度と比べて県内旅行の件数は減っておらず、近隣旅行の需要は続きながら、県外への旅行が追加された形となっている。

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値） ※上位10都道府県

全体							増減傾向			
2021年度 推計値	順位変動	2020年度 推計値	2019年度 推計値	2018年度 推計値	2017年度 推計値	21←20	20←19	19←18	18←17	
全 国	8,231万人		7,256万人	13,575万人	14,777万人	14,556万人	+	-	-	+
1位 東京都	647万人	↑	2位 430万人	1位 1,447万人	1,573万人	1,541万人	+	-	-	+
2位 北海道	608万人	↓	1位 526万人	2位 1,091万人	1,134万人	1,066万人	+	-	-	+
3位 長野県	414万人	↑	4位 351万人	5位 630万人	693万人	702万人	+	-	-	-
4位 静岡県	406万人	↓	3位 373万人	4位 665万人	733万人	773万人	+	-	-	-
5位 大阪府	382万人	↑	7位 282万人	3位 739万人	809万人	775万人	+	-	-	+
6位 神奈川県	373万人	↓	5位 347万人	6位 584万人	705万人	710万人	+	-	-	-
7位 京都府	365万人	↓	6位 301万人	7位 549万人	623万人	637万人	+	-	-	-
8位 千葉県	302万人	↑	10位 249万人	9位 510万人	619万人	553万人	+	-	-	+
9位 福岡県	293万人	↑	11位 208万人	8位 515万人	496万人	503万人	+	-	+	-
10位 兵庫県	288万人	↓	8位 275万人	11位 457万人	485万人	472万人	+	-	-	+

■ ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減（2021年度 - 2020年度推計値）

	単位(万人回)	宿泊先ブロック								
		北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック
全 体	21年度	608	775	1,902	1,089	962	1,311	808	1,014	284
	20年度	526	741	1,576	996	854	1,129	774	886	265
	19年度	1,091	1,191	3,488	1,735	1,586	2,188	1,279	1,559	474
	21年度-20年度	82	34	326	93	108	182	35	127	19
居 住 ブ ロ ッ ク	北海道ブロック	4	11	29	2	4	7	2	-1	8
	東北ブロック	7	-8	37	1	5	3	4	2	-1
	関東ブロック	34	44	38	14	50	75	31	55	13
	甲信越・北陸ブロック	4	-2	27	46	9	-2	3	6	3
	東海ブロック	18	-3	48	19	9	36	-4	14	3
	関西ブロック	7	-3	57	8	16	32	2	18	8
	中四国ブロック	0	-4	28	-1	7	22	2	9	1
	九州ブロック	5	-3	52	4	7	7	-4	23	4
	沖縄ブロック	4	2	10	1	2	3	-2	1	-20

※ブロック別増減/+30万人以上：網掛け黒文字 ※全体増減/+100万人以上：網掛け黒文字

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしているため、各県の延べ宿泊旅行者数の全体に対する構成比を足し上げると100%を超える

※1人あたり1年間に行った全ての旅行回数を尋ねた結果から推計している

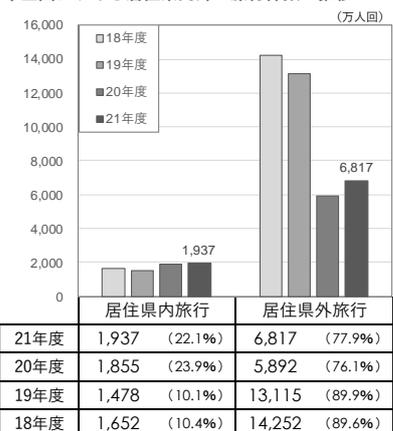
■ 居住地別の県内旅行率ランキング（トップ10）

＜ベース：各都道府県の居住者による旅行＞

	21年度 単位 (%)	20年度	19年度
1位 北海道	65.0	76.7	55.2
2位 岩手県	57.3	59.5	16.9
3位 秋田県	52.4	61.0	6.1
4位 新潟県	47.7	48.1	16.3
5位 長崎県	45.2	33.0	12.4
6位 富山県	43.5	31.6	8.5
7位 高知県	42.3	24.5	7.4
8位 長野県	41.7	42.7	19.6
9位 青森県	39.9	42.4	10.2
10位 福島県	39.8	40.0	22.4

■ 居住県内外別の延べ旅行者数の推移（推計値）

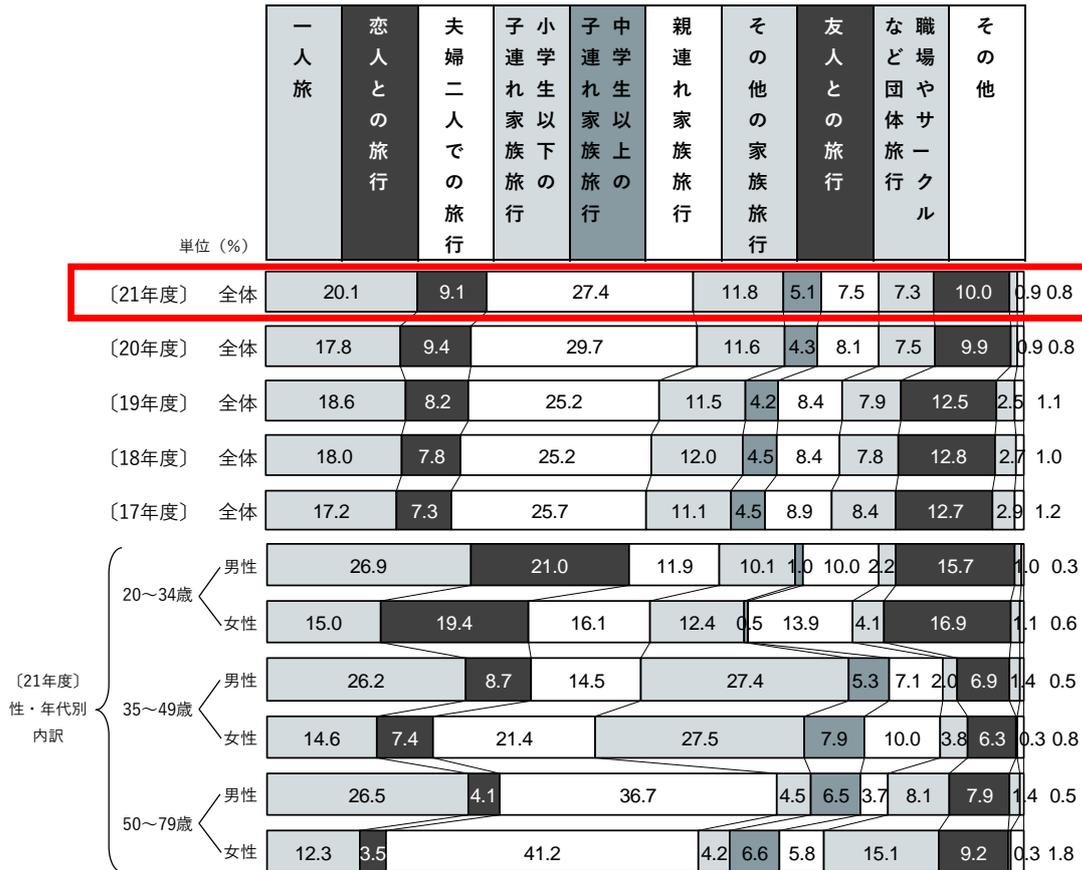
◇全国における居住県内外の旅行件数の推移



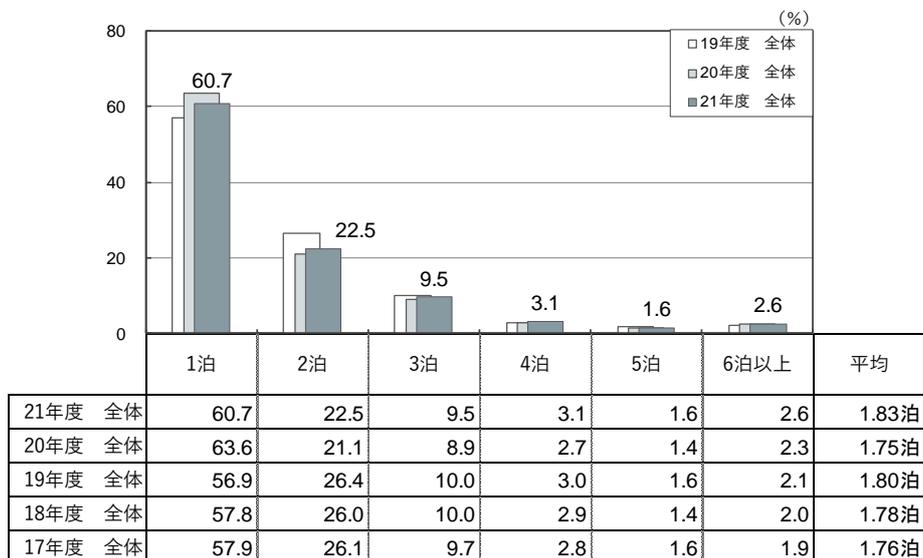
宿泊旅行の同行者、宿泊数

2021年度に実施された宿泊旅行のうち、「夫婦二人での旅行」が27.4%。次いで「一人旅」は20.1%で、過去最高値となった。「一人旅」は男性で割合が高く、いずれの年代においても26%台となり、男性が実施した旅行のうち4件に1件は「一人旅」という結果になった。宿泊数については、「1泊」（60.7%）がやや減少したものの最も高い。「2泊」「3泊」が2020年度よりも微増し、「6泊以上」の長期旅行に関しては増加傾向にあり、2021年度は2.6%。平均宿泊数は1.83泊となり、過去最高である。

■ 宿泊旅行の同行形態（単一回答／1人あたり最大3回までの旅行件数）



■ 宿泊数（単一回答／1人あたり最大3回までの旅行件数）



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>